

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023年 7月 6日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒004-0839 札幌市清田区真栄319番地
氏名	医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院
(代表者名)	理事長・院長 森 一也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動 第23条第3項 自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報告期間	2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日					
事業の規模	従業員数	464	人	原油換算した	1603.3	kl
	使用床面積	26115.983	m ²	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	11	事業所	自動車使用台数	50	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	4050	メタン	N ₂ O	HFC
非エネルギー起源CO ₂			PFC	SF ₆	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠	条例第13条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
	条例第23条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項	
計画期間	2020年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2020年4月1日～2023年3月31日

【報告期間】

2022年4月1日～2023年3月31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2020年度結果			2021年度結果			2022年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	3850 t	1 %	4050 t	▲5 %	×	4060 t	▲5 %	×	4050 t	▲5 %	×
紙使用量の削減	1382000 枚	1 %	1218500 枚	12 %	○	1281500 枚	7 %	○	1298500 枚	6 %	○
一般廃棄物廃棄量の削減	831 m	1 %	838 m	▲1 %	×	849 m	▲2 %	×	986.5 m	▲19 %	×
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	106.5 t	1 %	104 t	2 %	○	98.2 t	8 %	○	99.1 t	7 %	○

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	重油・電力の使用量が顕著に高くなっており、感染予防対策で換気の頻度が増えるのに伴い、冷暖房効率が下がったことが原因と推測される。2020年以降は同水準で推移。
紙使用量の削減	○	会議のペーパーレス化が定着してきた
一般廃棄物廃棄量の削減	×	病棟における新型コロナウイルス感染者の発生に伴い、廃棄物の量が増大したため。
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	ガソリンは基準年度費83.7%、軽油105.4%。ダイヤ送迎の見直しでガソリン車使用が減り、バスが増えた。コロナ下による営業自粛なども影響